ざおうまち 架け橋通信

遊びは学び、学びは遊び、やってみたいが学びの芽！

令和８年６月発行　ＮＯ・２　蔵王町教育委員会

架け橋プログラム作成委員会始動！

５月２８日（木）遠刈田小学校１年生国語の授業、単元名「ことばあそび」を参観しました。幼児施設の先生方は、自分が受け持った子どもの３月までの姿を、小学校の先生方は、自校のクラスの学びの様子を思い浮かべながら成長を確認していました。また、小学校での生活の中に、幼児施設での遊びや学びがどのように生きているか、思いを巡らせながら参観している姿が印象的でした。

当日、１年生５名は、アットホームな雰囲気の中、落ち着いて学習に取り組み、担任の先生との会話ややり取りの中、自分の知っている言葉を伝え、友達の意見に耳を傾けながら、

しりとりで、遊ぶように文字を学んでいました

♥架け橋期の学びのキーワードですね♥

●1年生になると「勉強」ですが、入学して2か月経った授業は、園でも喜んでいた遊び（しりとり）が取り入れられていて、楽しく学んで居る姿を見ました。友達と考えたり教え合ったりしてしりとりをゴールさせていく様子を見て、園での学びが小学校での学びに繋がっていることを感じました。

●一人一人に寄り添って進め、とても元気いっぱいの姿が見られて良かったです。

●園での取り組みの基礎があるからこそ、小学校での学習規律（ルールを守る、人の話をしっかり聞く等）にも繋がっているのだと感じました。

●子供達がとても落ち着いていて、しっかり学習したことが身についていて素晴らしいなと思いました。ノートの取り方、文字の丁寧さ凄いですね。とても刺激になりました。自分も頑張ろう！！と思いました。

●子供達の学習が積み重ねられ、全員がしっかりとひらがなが書けていることに驚きました。また、クラスが温かい雰囲気で学習が進んでいてとても素敵でした。自分のクラスでも、温かい言葉や雰囲気になるようにしたいと思います。

●園での経験が「学びの土台」になっていると改めて感じました。今後もたくさんの「やってみたい！」「なぜ？」を育てていきたいです。

●児童との対話が少人数ならではの環境の中でこまかに行われ、児童がしりとりを知っているかを問う姿や共感する姿に学びの可能性の大きさを感じました。

●少人数（５名）の教育の難しさがあると思いますが、子どもが幼児期に得た力を信じていただけたら嬉しいです。

●もっと自分が幼こ小の連携を意識していきたいです。

次の架け橋プログラム作成委員会は・・・

６月３０日（火）１５：００から、ございん第２会議室で行います。架け橋プログラムを作る際の、蔵王町の目指すこども像や、幼児期に育ってほしい１０の姿の理解や、いよいよプログラムの様式の検討に入ります。皆さんと意見を出し合いながら、見やすく活用しやすいプログラムを目指します。アイディアやご意見は各施設のプログラム作成委員を通してお知らせください。